



川村奉行行列

年を重ねて15回、住吉行列の先導役として、欠かせない伝統行事となりました。

Geeks 夏祭り(こんなにきわいが近くの公園であったんだ!!) 9月2日万代公園



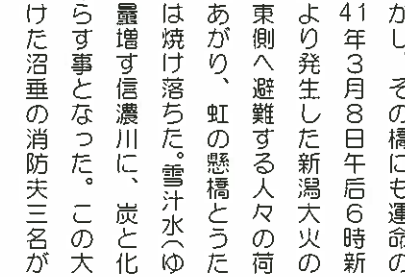
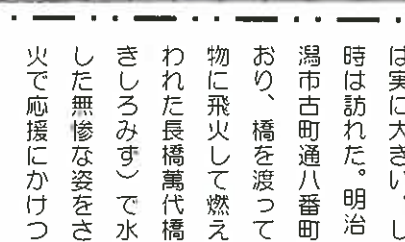
行列みんなの給水隊

新潟市、商工会議所、江東地区にいがたまつり実行委員会、万代地域コミ協 住吉行列、民謡流し(8月8~10日)



新潟市・沼垂町 合併100周年

重軽傷を負っている。その後、県知事の積極的な調整もあり、大正3(1914)年4月1日に新潟市と沼垂町は合併しました。三社神社：流作場二百五十年誌より



明治41年2月2日突如発生した沼垂大火に際し、新潟市所有の最新式蒸気ボンブが萬代橋を渡り応援に駆けつけて消火にめざましい働きをした。この事で横年のいささを払拭して新潟市と沼垂町の合併が促進されたといわれている。東西結ぶ萬代橋が橋わたし役となり大火の災いを転じて新沼合併と言う新潟の新时代を招来した働きは実に大きい。しかし、その橋にも運命の時訪れた。明治41年3月8日午後6時新潟市古町通八番町より発生した新潟大火の、橋を渡って東側へ避難する人々の荷物に飛火して燃えあがり、虹の懸橋とうたわれた長橋萬代橋は焼け落ちた。雪汁水(ゆきしろみず)で水量増す信濃川に、炭と化した無惨な姿をさらす事となった。この大火で応援に駆けつけた沼垂の消防夫三名が

秋の長雨が終わり、本格的な秋の始まりになる「寒露」の季節。五穀の収穫もたけなわで、農家では繁忙を極めます。大気の状態が安定して空気が澄んだ秋晴れの日が多くなり、夜には月も美しく輝いて見えます。空を見上げればこれまでと違った、秋の清々しさと新潟の趣を感じる空に出会えるとおもいます。

編集後記 第16号発行して

みやの万代ぶつぶつ——消えたか? 2014年問題 県が構想を進めている北陸新幹線金沢延伸後の本県の地位低下が懸念される「2014年問題」がある。ここ10年もの間、具体化したものはない。何もしないままだとじり貧だ。構想のうち、上越新幹線を空港まで延伸することに賛成したい。あと10キロ足らずの新幹線延長をするだけで、全く違った性格をもつ「世界稀なる首都から新幹線直接乗り入れる空港になる。」新幹線だけ通しても周辺を一体的に開発しなければ全国から人を呼べない。北陸新幹線の3.14開業は決定し、県内の2駅は最速の「かがやき」は素通りとなったが、上越地方にたいした影響はない。JRの判断はもっともだと思う。ただ上越新幹線の減便がどの程度なのかが心配だ。 副会長：宮川 善徳

コミ協だよりは新潟市地域活動補助金をうけて制作しています。

おーい どんげだね!!

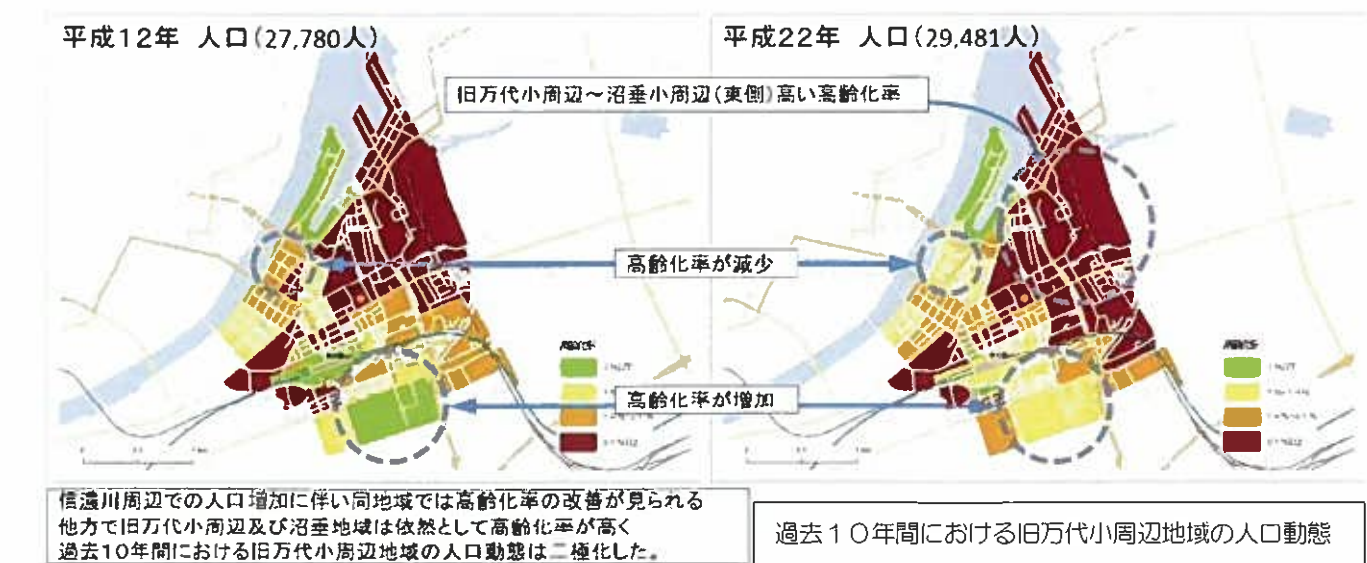
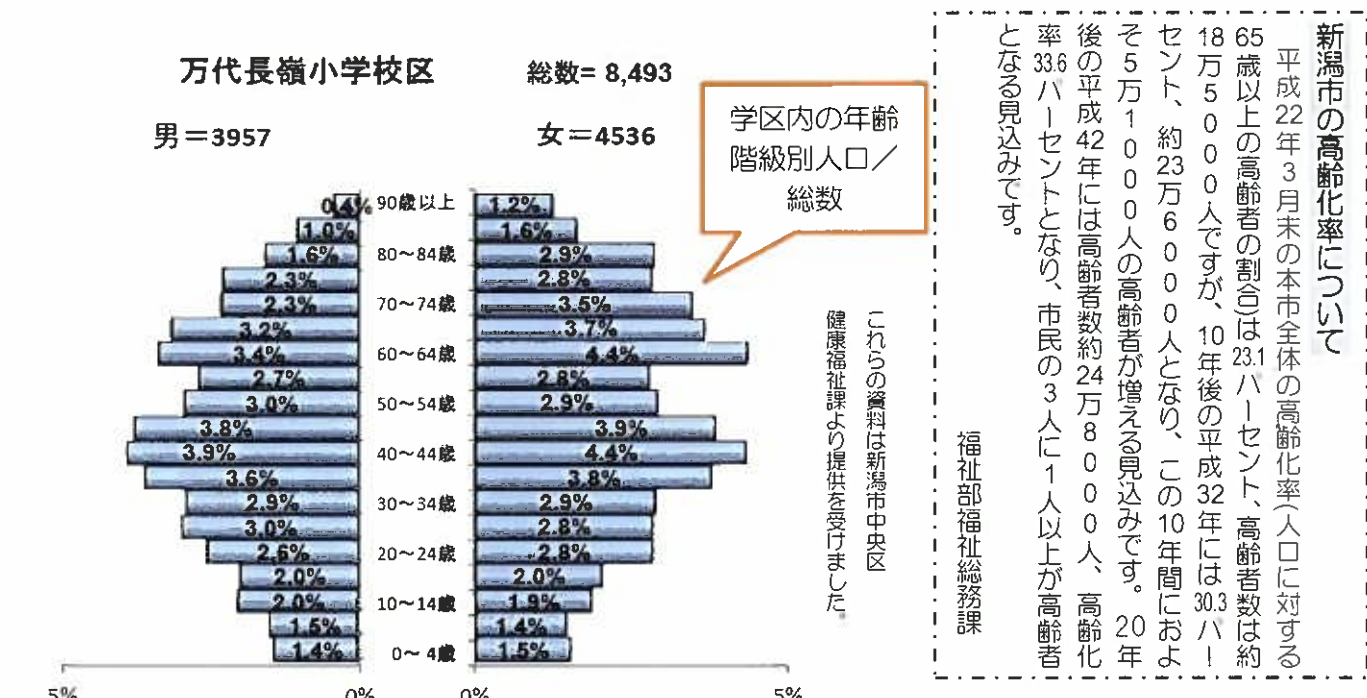
万代コミ協だより第16号 2014年10月15日 万代地域コミュニティ協議会 発行者：丸田 喜世 新潟市中央区天明町19-16

= 子供たちの安全と、地域の人との、交流のために =



朝8時45分、上は坂田さん前、右は猪股本店前交差点

セーティスタッフのみなさんに見守られて 万代長嶺小六年一組 館山 柚希 毎朝、季節が変わっても同じ場所に立って、私たちが元気に安全に学校に行けるように見守り、あいさつをして、少しでも明るい笑顔が広がるように取り組んでくださってありがとうございます。セーティスタッフさんのおかげで、元気なあいさつをする人が増えていきます。



万代コミ協メールは bankomi@gmail.com